

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
国際ビジネス公務員 大学校		昭和59年3月1日		双石 茂		〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 (電話) 024-923-4665	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 新潟総合学院		平成7年3月24日		池田 祥護		〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565	
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	ホテルビジネス科		平成22年文部科学省 告示第31号	-		
学科の目的	本校は、商業実務関係・教育社会福祉関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科であるホテルビジネス科においては、日々変化するホテル業界に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。						
認定年月日	平成 29年 2月 28日						
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技
2	昼間	586時間		0時間	1225時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	15人	1人	1人	9人	10人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、授業態度、実習成果等により評価		
長期休み	■学年始:4月1日～4月6日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月7日 ■学年末:2月11日～3月31日			卒業・進級 条件	出席率90%以上の出席と科目履修終了により進級・卒業とする。		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、保護者面談、欠席者に対する補習等を適宜実施			課外活動	■課外活動の種類 球技大会実行委員 学園祭実行委員 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) ホテル、ゲストハウス、専門式場、ドレスショップ ■就職指導内容 求人サイトへの登録斡旋、就職相談、履歴書・エントリーシートへの添削、面接指導等 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 5 人 ■就職者数 5 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 レストランサービス 技能検定3級 ② 5人 2人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中途率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者13名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者13名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による出欠確認の徹底、定期的な個別面談、モチベーション教育、教職員の情報共有、カウンセリングの実施						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 待生制度:入学対象者および進級生を対象とし、成績・実績・面接試験をもとに選考。入学金や授業料を免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無						
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.jo-bi.jp						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 観光業従事者育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、レストランサービス検定の対策のほか、すべての在學生は、ホテルと連携してホテルでの実習やイベント企画などを行い、企業側・学生側双方の意見、改善点を各々フィードバックし、企画力やホスピタリティ精神を			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成29年10月1日現在			
	名前	所属	任期
	上浦 憲次	郡山ホテル協会 理事	平成29年4月1日～平成30年3月31日
	秋葉 啓一	ハマツ観光株式会社 プライダル課 支配人	平成29年4月1日～平成30年3月31日
	薄井 昇子	郡山ビューホテル株式会社 販売課 ティアラ マネージャー	平成29年4月1日～平成30年3月31日
	種別		
			①
			③
			③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年2回 (開催日時) 第1回 平成29年7月20日 14:00～15:00 平成28年7月28日 14:00～15:00 実施済み 第2回 平成29年11月16日 14:00～15:00(予定) 平成28年1月13日 14:00～15:00 実施済み			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 H28年度の委員会よりインターンシップ先は県外だけでなく、実情を知るためと比較のためにも県内でも行うべきとの意見。カリキュラムについてはホテルと連携した授業の提案がある。H29年度カリキュラムにインターンシップ先の協力を依頼し県内インターンシップを導入。コミュニケーションアップのためにも企画立案・プレゼンテーションを行うカリキュラムを導入。学生のプレゼンテーション力向上に役立った。			
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 卒業後の即戦力を目指すため、インターンシップ実習を強化し、受入れ企業に対しては、マンツーマンの指導者対応を要請するとともに、複数部署での実務研修を実施する方針とする。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ホテルと学校で定めた項目に基づいて実習を実施。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
	科目名	科目概要	連携企業等
	披露宴実習	ウェディングセレモニーの実施 結婚式を学生達がーから企画実施し、ホテルプライダルについて学ぶ	郡山ビューホテル
	ホテルイベントプロデュース I A I B	ブライダルフェアの企画実施 ホテルをクライアントとし、ヒアリングからクライアントの求めるブライダルフェアの企画、プレゼンテーションを行い、選択いただいたものを実施する	ホテルハマツ
	レストランプロデュース	レストランの開店 ホテルの宴会場をお借りし、学生達が企画したレストランをオープンさせる。 企画力をつけるとともに、レストランサービス技術の集大成とする。	ホテルハマツ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。			
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 1. 公益社団法人日本青年会議所 効果的なプレゼンテーションセミナー参加(5月14日,15日) 2. 全専研退学抑止者研修参加(8月22日)			
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 1. 郡山まちづくり協議会まちづくりミーティング(12月予定) ② 指導力の修得・向上のための研修等 1. 退学抑止者研修(3月16日予定) 2. 教員研修(2月19日予定) 3. 実践行動学指導者研修(3月22日予定)			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針 学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標		
(2) 学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善		
(3) 教育活動	教育の内容		
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果		
(5) 学生支援	学生支援		
(6) 教育環境	教育の実施体制		
(7) 学生の受入れ募集	学生支援		
(8) 財務	管理運営(法人)		
(9) 法令等の遵守	管理運営		
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動		
(11) 国際交流	留学生状況・国際提携校・国際交流活動		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 学校・評価委員会・本部による点検後の自己点検評価に基づき、不備な点の改善、方向性の決定、優良な点の継続、及び次年度以降の解決・取組課題を具体化し、学校の質保証・向上に努めていく。平成28年度評価内容において地域に貢献できる人材の育成においては卒業後の離職状況についても公表していくべきとの結論となり、平成28年度卒業生について1年後の調査後に状況を把握し平成30年度に情報を共有することとしている。			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 平成29年9月13日現在			
名前	所属	任期	種別
影山 幸一	福島交通観光株式会社 課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
桑原 一徳	郡山情報ビジネス公務員専門学校 同窓会会長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
三郎 吉久	税理士法人三郎会計事務所 代表社員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
上田 哲	郡山商工会議所 開発事業部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
永山 三郎	郡山情報ビジネス専門学校 元校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	元校長
双石 茂	国際ビジネス公務員大学校 学校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	学校長
増子 卓矢	国際ビジネス公務員大学校 副校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	副校長
井口 義基	国際ビジネス公務員大学校 教務部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	教務部長
菅野 浩二	国際ビジネス公務員大学校 地域連携課課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	課長
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 H29.9.30 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()) URL: http://www.jo-bi.jp			
5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」			
(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。			
(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		
(2) 各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績		
(3) 教職員	専任教員		
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導		
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備		
(6) 学生の生活支援	各種奨学金制度・学生寮・住居紹介		
(7) 学生納付金・修学支援	各種奨学金制度・学費サポート・特待生制度		
(8) 学校の財務	収支決算書		
(9) 学校評価	自己点検評価結果		
(10) 国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動		
(11) その他	生涯学習・編入学等		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 情報提供方法 Webページ URL: http://www.jo-bi.jp			

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテルビジネス科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション論Ⅰ	ビジネスシーンに通用するコミュニケーションの手法を学ぶ	1後	60	—	○			○			○	
○			キャリアプランⅠ	職業観の育成・進路指導に関わるグループワークや授業を行う	1後	60	—	○			○			○	
○			一般教養演習Ⅰ	社会人に必要な教養と常識を習得し、筆記試験の対策を行う	1前	60	—	○			○		○		
○			レクリエーション実習	バスハイクや球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	1後	20	—			○		○			
○			就職研修	就職活動に向け、姿勢や挨拶など実践的な研修を実施	1後	20	—			○		○			
○			ホテル概論Ⅰ	宿泊業における宿泊業務の基礎全般を学ぶ	1前	28	—	○			○			○	
○			ウェディングプランナー	日本のウェディングの歴史、伝統、慣習及び実務内容を理解する	1前	28	—	○			○			○	
○			接遇マナーⅠ	接客販売に関する知識と技術を身につける	1前	28	—	○			○			○	
○			披露宴企画Ⅰ	ウェディングセレモニーの企画、装飾品や装花の準備、広報活動をする	1前	42	—			○	○			○	
○			披露宴運営Ⅰ	ウェディングセレモニーの演出について考え準備をする	1前	42	—			○	○			○	
○			披露宴実習Ⅰ	ウェディングセレモニーのスタッフとして当日の進行練習と本番実施	1前	32	—			○	○			○	○

○		ホテルレストラン実習Ⅰ	ホテルの業務について実技を通して身につける	1前	42	—			○	○	○			○
○		色彩	色彩の基礎的な理論や体系的な知識を身につけ、パーソナルカラーの特徴及び色彩心理について学ぶ	1前	28	—	○			○				○
○		フラワーコーディネート	ブライダルの装飾に活かす生花の扱い方、基礎的な技法を学ぶ	1後	32	—	△			○	○			○
○		ホテル業界研究	ホテルの分類を知り、それぞれの特長について捉えてまとめ、プレゼンテーションをする。	1後	32	—				○	○			○
○		接客マナーⅡ	接客販売に関する知識と技術を身につけ、応用することが出来る	1後	48	—	○				○			○
○		ホテル概論Ⅱ	宿泊業における宿泊業務の基礎全般を学ぶ	1後	32	—	○				○			○
○		ホテルイベントプロデュースⅠA	ホテルイベントのひとつであるブライダルフェアを企画する	1後	32	—				○	○			○
○		ホテルイベントプロデュースⅠB	ホテルイベントのひとつであるブライダルフェアの制作準備を行い、当日実施する。	1後	32	—				○	○	○		○
○		レストランプロデュースⅠ	レストランを学生達自ら企画準備し、開店させる。レストランに必要な要素、サービスのあり方などをまとめ実践する機会とする。	1後	48	—				○	○	○		○
○		英会話ⅠA	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1前	28	—				○	○			○
○		英会話ⅠB	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1後	32	—				○	○			○
○		Word実習	ワードの操作方法と文書作成方法を習得する	1前	42	—	△			○	○			○
○		Power Point実習	PowerPointの操作方法とプレゼンテーション力を養う	1後	32	—	△			○	○			○
	○	インターンシップ実習(選択)	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	1前	72	—				○		○		○

		○	ボランティア実習（選択）	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	1後	20	—			○	○			○
		○	地域振興事業応援実習	地元のバスケットチームを応援し、地域復興に向けて取り組む	1後	20	—			○	○			○
○			キャリアプランⅡ	職業人としての生活設計を立てる	2後	62	—	△		○	○			○
○			コミュニケーション論Ⅱ	ワークショップを用いてコミュニケーション能力を養う	2後	62	—	△		○	○			○
○			卒業研究	自分が興味を抱く異文化の研究・調査・プレゼンを行う	2後	32	—			○	○			○
○			レクリエーション実習	バスハイクや球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	2後	20	—			○	○			
○			国際文化研修	異文化体験を通しグローバル社会に対応する国際感覚を養う	2後	40	—			○	○			○
○			プレゼンテーション研修	校外実習にて学科に関わる研修先を学生自ら選定し、研修した内容をまとめプレゼンテーションする	2後	10	—			○	○			○
○			A B C I	ブライダルを担当する者が心得ておくべき実務知識を習得する	2前	30	—	○			○			○
○			ドレスコーディネート	ドレスの特徴、お手入れについて学び、お客様から	2前	30	—	○			○			○
○			レストランサービス概論	レストランサービス技能検定に学科試験に向けて学ぶ	2前	60	—	○			○			○
○			ホテルレストラン実習Ⅱ	ホテル業務について実習を通して身につける	2前	45	—			○	○	○		○
○			披露宴企画Ⅱ	ウェディングセレモニーの企画、装飾品や装花の準備、広報活動をする	2前	45	—			○	○			○
○			披露宴運営Ⅱ	ウェディングセレモニーの演出について考え準備をする	2前	45	—			○	○			○

○		披露宴実習Ⅱ	ウェディングセレモニーのスタッフとして当日の進行練習と本番実施	2前	32	—			○	○	○	○	
○		アロマテラピー	基本的なアロマの知識を習得し、就職後の活用方法を身につける	2後	32	—	○		○		○		
○		A B C Ⅱ	ブライダルを担当する者が心得ておくべき実務知識を習得する	2後	32	—	○		○		○		
○		レストランサービス実技対策	レストランサービス技能検定の実技練習をすることで合格を目指す。	2後	40	—			○	○	△	○	
○		着付実習	着物の名称を学び、更に着付けの技術を身につける	2後	16	—			○	○		○	
○		ホテルイベントプロデュースⅠA	ホテルイベントのひとつであるブライダルフェアを企画する	2後	32	—			○	○	△	○	○
○		ホテルイベントプロデュースⅠB	ホテルイベントのひとつであるブライダルフェアの制作準備を行い、当日実施する。	2後	32	—			○	○	△	○	○
○		レストランプロデュースⅡ	レストランを学生達自ら企画準備し、開店させる。レストランに必要な要素、サービスのあり方などをまとめ実践する機会とする。	2後	48	—			○	○	△	○	○
○		マーケティングⅠA	マーケティングの中のイベント開催を中心に、展開方法や企画立案にあたっての基礎知識習得を目指す	2前	30	—	○		○			○	
○		マーケティングⅠB	前期の学びを活かし、イベントの企画を立案し、プレゼンテーションを行なう	2後	32	—	△		○	○		○	
○		英会話ⅠA	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2前	30	—			○	○		○	
○		英会話ⅠB	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2後	32	—			○	○		○	
○		Excel実習	エクセルの操作方法と表計算処理の方法を学ぶ	2前	30	—	△		○	○		○	
○		ビジネス電話演習	ビジネスの場における正しい電話対応を実習形式で学ぶ	2後	32	—	△		○	○		○	

		○	インターンシップ実習(選択)	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	2後	32	—				○	○			○
		○	ボランティア実習(選択)	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	2後	20	—				○	○			○
		○	企業研修(選択)	早期企業実習(内定先にて)	2後	20	—				○	○			○
		○	地域振興事業応援実習	地元のバスケットチームを応援し、地域復興に向けて取り組む	2後	20	—				○	○			○
合計					57科目	1811単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
90%の出席と科目履修終了により卒業。履修方法は科目の特性に合わせ講義・演習・実習の形式をとる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。